

科目名	地域交通体系論	科目コード	1412	単位数	2
担当者名	田村 亨	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次

● **授業のねらい**

ひと・モノ・お金・情報の移動の内、「ひとの移動」に着目して、より質の高い暮らしを目指すため、移動のどこを改善すべきかについて体系的に学ぶ

● **到達目標**

- ・ひとの移動に関わる問題を発見し、それを解決する能力を育成する
- ・ひとの移動に関わる用語を理解し、的確に使える知識を身につける
- ・国際社会の中で活躍できる「地域と交通」に関わる基礎知識を身につける
- ・以上をとおして、豊かな人間形成における幅広い教養とコミュニケーション能力を身につける

● **授業内容**

- 1週目 人々の暮らしを支える交通
- 2週目 地球環境問題と交通
- 3週目 どこに、どのような交通が生まれるか
- 4週目 人々の移動欲求量を満たす施設整備
- 5週目 移動の質の向上のためのサ - ビス改善
- 6週目 誰がサ - ビスを提供するか
- 7週目 3つの問題；混雑、事故、環境悪化
- 8週目 3つの解決方法
- 9週目 都市を造り快適な交通環境を創ろう（主体、目的）
- 10週目 都市を造り快適な交通環境を創ろう（土地利用）
- 11週目 都市を造り快適な交通環境を創ろう（施設の機能・規模）
- 12週目 都市を造り快適な交通環境を創ろう（施設の配置）
- 13週目 都市間交通
- 14週目 国際交通
- 15週目 新しい交通（水素社会、自動運転）
- 16週目 地域交通のまとめ + 試験

● **準備学習(予習・復習)等の内容**

- ・「都市を造り快適な交通環境を創ろう」の4回の講義は演習で、レポートを課す
- ・各講義において、「ひとの移動」に関わる専門用語を説明するので、インタ - ネットを使って復習をすること。期末試験の問題につながる
- ・以上に対応するため、週3時間の予習と復習を行うこと。

● **成績評価の方法・基準**

期末試験（70%）とレポート（30%）の総合評価でおこなう

● **履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法**

公表データを用いた具体的な実証分析が求められる

● **テキスト**

特になし。講義時に配布する

● **参考書**

交通計画学 金子雄一郎著 コロナ社 ISBN9784339056365 2012年出版 3000円

● **更新日付**

2019/02/01 11:20